

# 日本気象学会昭和37年度秋季大会告示

1. 場所: 東京 2. 期日: 11月中旬

## 1. 研究発表募集

- 1) 講演申込締切: 9月15日17時までに必着
- 2) 申込先: 東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎
- 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入のこと(天気7月号挿入)。用紙不足の場合は事務局又は支部に請求されたい
- 4) 講演時間: 20分以内とする

## 2 予稿集刊行について

春季大会のときと同じ要領で予稿集を刊行します。講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。

なお予稿集は実費で頒布する予定です。印刷部数の都合もあり、希望者は予約で申込んで下さい。

申込先: 気象庁測器課 清水逸郎

## 8 月 の 例 会

### 気象学史と気象教育

会期: 8月17日(金)10時より

会場: 気象大学校(千葉県柏市豊四季)

講演題目

1. 奥田 穰(気研): 災害と治水の関連について(岐阜県治水史より)
2. 斉藤錬一(気象庁観測): 日本気象災害資料の編纂に関連して
3. 荒井隆夫(気象庁観測): 凶冷の天気型について
4. 根本順吉・森永律子(気象庁予報): 荷風の日記より見た秋の天気について
5. 久米庸孝(羽田航気): 土佐日記について
6. 荒川秀俊(気研): 16世紀の気候と永世年間の諏訪湖明海の記事
7. 荒川秀俊(気研): 無人島漂流記の研究
8. 倉嶋 厚(気象庁予報): 比較気象事業史
9. 柳井迪雄・渡辺和夫(気研): 南洋の気象事業
10. 鯉沼寛一(気象庁予報): 黎明期の気象事業
11. 堀内剛二(気象大学): 日本における実証主義思想の源流
12. 白岡久雄(気象庁予報): 明治政府の科学行政について
13. 渡辺次雄(気象大学): 小・中・高校における気

象設備の現状について

14. 篠田政吉・久保木光熙(気象庁予報): 中学理科教員を対象とした気象教育に関するアンケートの集計結果

(何れも研究発表20分, 討論5分の予定)

シンポジウム(司会: 根本順吉)

気象の一般教育について(話題提供者, 中野猿人他)  
なお出席者は当日9時までに, 気象庁図書課横の守衛所前に集合して下さい。スクール・バスで会場に案内します。

### 低 気 圧

会場: 気象庁予報部会議室

会期: 昭和37年8月24日(金)13時30分

#### (1) 研究発表

一般研究発表

1. 迎 正秋(気象庁観測): 北半球の大気上層に於ける水蒸気の移流について

低気圧に関する研究発表

1. 粕谷光雄(気象庁予報): 東支那海北部に発生する低気圧

#### (2) シンポジウム

最近の低気圧論・低気圧の発生・発達等についての自由討論をおこなう。話題提供者未定。